今後の予定

2/6に、規制委員会への要請・国会院内集会を行います

【日時】 2014年2月6日(木) ※10時30分に参議院議員会館 入口の控室に集合 ○原子力規制委員会への要請

11:00~12:30

13:00~14:30 【会場】参議院議員会館B109会議室 【参加者】

○地元からの要請団 10~20名 ○脱原発・反原発・原発ゼロに とりくむ人々 10名程度 計20~30名程度

「原子力規制委員会への要請」

○開会挨拶 ○議員から一言 ○規制委員会側回答

○質疑・意見表明

○閉会挨拶

「院内集会」

○開会挨拶

○議員から一言(随時)

○伊方原発をとめる会の報告

○参加者意見表明

○閉会挨拶

参加して頂ける方は、「伊方原発をとめる会」事務局の(和田)090-4500-3320 までご連絡下さい。

伊方原発運転差止訴訟 第4次原告募集を2月から

1月21日の幹事会で、伊方原発運 転差差止訴訟の第4次提訴の原告を 募集することを決めました。

第1次~3次訴訟ですでに計1002 名の原告を擁しています。勝訴する為、 また再稼働への四電の野望を打ち砕 くため、「再稼働するな」の世論をいっ そう大きくすることを目的としています。 会員で原告になっておられない方は、 この際に是非担ってください。また既 に原告となっている方はご家族や知人 にお勧めください。

なお、原告になるためには、訴訟費 用1万円を添えて、委任状と承諾書に 必要事項を記載し押印して、「伊方原 発をとめる会」までご提出ください。委 任状等の用紙は、2月1日からホームページでダウンロードできます。郵送の必要な方は、お手数ですが「伊方原発をとめる会」事務局までご連絡ください。訴訟費用は郵便振替でご送金ください。

口座番号 01610-9-108485 口座名=伊方原発をとめる会

上関原発を建てさせない! 3・8山口県民大集会バスツアー

山口・上関原発建設の動きが余談を許しません。瀬戸内海を挟んで伊方の対岸です。事故が起きれば、瀬戸内海を死の海にしてしまいます。建設を許してはなりません。昨年12月1日には、山口県からも多数の仲間が参加してくれました。愛媛から大型バス(40名)で参加しましょう。(日帰りです。)

と き 3月8日(土)10時~16時 ところ 山口市・維新公園ちょるる広場

【行程】 3月8日(土)

出発①午前5:00 JR 松山駅前(日通前) ※自家用車はキスケ駐車場に置いてください。

「JR旅行」から駐車券が出ます。

出発②午前5:10堀江・そうごうマート前 出発③午前5:20北条マルナカ辻向いダイナム

ゆったり館前

出発④午前5:50今治北インター入口

【費用】大人(大学生以上)5500円、 子ども用座席は2500円

【参加人数】先着40名(40名で締め切ります) 【参加申込み】TEL090-7140-6621

(伊方原発をとめる会事務局:島本まで) 連絡いただいた際に、①氏名、②所属団体名、

③乗車地点の3点をお伺いします。

連絡いただいた際に、①氏名、②所属団体名、③乗車地点の3点をお伺いします。

【計報】

当会発足当時から幹事をして戴いた中川悦良さんが、昨年12月13日にお亡くなりになりました。脳出血と伺っています。一貫して原発とのたたかいを続けてこられました。ご冥福をお祈り申し上げます。

3/29 (土) 佐藤暁講演会 (P 7に詳報)

3/11(火) 第7回口頭弁論(P5に詳報)

編集後訂

訴訟、講演会、ニュース発行、ホームページ作成、署名活動、陳情・請願、集会とやるべき課題は多い。そして調査・研究・学習と。ボランティアばかりで、やっている事務局。もっと若手の事務局員がほしい、というのが現在の事務局員の本音。長丁場の訴訟活動になることが想定される。今年は知事選の年。沖縄・名護市に続いて愛媛も勝利だ!というのが昨晩の夢であった。(事務局員 島本)

- 8 -

伊方原発をとめる会ニュース

2014年1月29日 NO.9

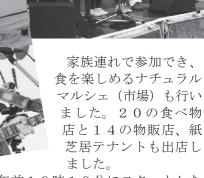
〒 790-0003

愛媛県松山市三番町 5-2-3 ハヤシビル3F 電話 089-948-9990 FAX 089-948-9991 ホームページ http://www.ikata-tomeru.jp メール ikata-tomeru@nifty.com

「NO NUKES えひめ」に 8,000 名が参加!

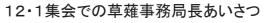
昨年12月1日に開催された「NO NUKES えひめ」集会には、愛媛県内外から8,000人の参加者がありました。集会では、原発をなくすために奮闘されている著名人や国会議員などのスピーチ、地元で声をあげ続けている人たちの発言がありました。(発言について3ページから掲載)。

音楽家は、嶋本慶(沖縄民謡)、松浦優(地元シンガーソングライター)、三宅洋平(沖縄出身のミュージシャン)の3人が参加して くれました。



年前10時10分にスタトした 集会は、午後2時過ぎ、集会決議れま、 年がられ、満場の拍手で採択されずまま か上げられ、満場の拍手で採択さらずまままで を中の激しい雨にもかかした。 会は欠けることなく行われました。で では欠けることなく行われました。で 2時30分からは、2つの山を囲んで が出発しました。県庁と城山中心で が出発しました。県庁と城中心で で の別が続き、午後4時すぎにすべい 行事が終了しました。福島を忘れない 行事が終了しました。福島を忘れない 行事を稼動させない!の思いをいっそう 強く広くした一日でした。

ハプニングもあり、至らない点が多々 ありました。にもかかわらず皆様の強い ご支援のもと終了することができました。 多くの方から激励のお声かけをいただき ました。あらためて深く御礼申し上げま す。



本日の大結集に感謝と敬意を表します。あたかも、福島のこれほどの痛み・苦しみ・うめきがなかったかの如く、いのちや環境よりも、経済や政治を優先することは許されません。原発と人類は共存できません。原発がなければ原発震災の心配もなく、電力会社が原発につぎ込む巨大な費用も不要です。私たちは、伊方原発再稼働を阻止するために全力を挙げてまいります。

スタッフ・参加者の感想から

2コースでの元気な大規模デモの熱気は、会場すぐ隣の 県庁の県知事に、そして伊方原発再稼働を推進する人々 に届かなかったはずはありません。党派を超えて共同し、多 くの市民、ボランティアスタッフが一緒に企画運営にあたり、 「異文化交流」で摩擦をおこしもめながらも、若い人たちに 引っ張ってもらい、既成概念を壊してもらい。当日は、若い 人たちが「おじ様達のきっちりした仕事ぶりに感動しました」 と敬意を払う。「波乱万丈」でしたが、無事終えることができ ました。有難うございました。お疲れ様でした!

(原発さよなら四国ネットワーク:おおのきょうこ)

「運動」は必ず若い人たちにつないでいかなくてはならないので、若者が多かったことに希望がもてました。マルシェもあったし、家族連れも多かったし、「楽しさ」もあって良かったです。強い雨の中、最後まで人々が残ってくれたことも感動でした。デモの時は、北コースの宣伝車を担当しましたが、大阪から親子連れできたお子さんが一緒に乗りたいというので乗ってもらいました。「一点での共同」で、異なる質の取り組みが連携し合うというのは、やっぱり大きな力を発揮するんですね。ほんとうにご苦労様でした。

(全自交愛媛地方本部: わたなべつねこ)

各団体やネットワークで活動されてきた皆様と一緒にこの企画を行えて、本当に良かったです。愛媛に8000人も集まって「伊方原発をとめろ!」の全国の声を表すことができるなんて、半年前は想像もできませんでした。個人的には、集会そのものもさることながら、打ち上げで、みなさんの「原発とめたい」思いに触れられて感動しました。それぞれの人生があっての集会と「また次につなげましょう」の言葉、ずしんと胸に響きましたし、「こんな方々が愛媛にいるんだから、絶対伊方とめられる!」と希望を持てました。

(伊方原発とめまっしょい☆若者連合:アユム☆グリーンレモン)

日頃、あまり外のイベントに参加できていないのですが、 今回は、「参加すること」、「行動すること」、そして、「幅広い共同」 が大事だなぁと感じました。私の職場では、この集会に向け て、ベテラン医師が原発問題の連続講座を開きました。仲 間が家族連れで多数参加したのもこうしたことの反映でした。 デモで町中を歩くと、一緒に歩き出しそうな人が何人もいま した。松山市駅前では塾の休憩中に、子どもたちが一斉に 手を振ってくれました。あらためて子どもたちのためにも原 発をなくさねばと思いました。

(愛媛民医連:おおにしすみこ)





12・1「NO NUKES えひめ」で のデモ。小雨が断続する中、長い長い列 が続きました。



知事宛署名の第3回提出=4月15日を予定 署名は3月末〆で集中してください

知事宛署名の提出を4月15日(火)の予定で準備をすすめます。署名は3月末で、伊方原発をとめる会事務局に集中して下さい。署名用紙はホームページからダウンロードできます。

2014年にあたって

事務局長 草 薙 順 一

2014年は伊方原発3号機が稼働するか否かの節目となることが予想されます。なぜなら、昨年7月8日に四国電力が原子力規制委員会に提出した規制基準審査に結論が出ると思われるからです。

しかし四国電力は、求められている資料の提出に時間がかかっており、未だ提出されていません。従来の立地指針に従えば、原発は30キロ圏内には人の住んで

いない場所に造らなければなりません。しかし伊方原発の場合、30キロ圏内に約13万5000人の人が住んでいます。

愛媛県や7市町はこの人々を安全に避難させること は不可能です。仮に避難できたとしても、避難先で健 康で文化的な生活を保障することはできません。伊方 原発は廃炉しか選択肢はないのです。

原発は人類と共存できないことを肝に銘ずるべきで す 「NO NUKES えひめ」御中

集会メッセージ

集会参加のみなさん、ご苦労様です。秘密保護法が衆議院 で強行採決され、参議院が主戦場となっており、参加できず申 し訳ありません。

秘密保護法の審議の中でも、原発情報が国民に隠される危険性が明らかになりました。国民にとって大事な情報を隠し、 事故原因もはっきりしないまま、原発再稼働などとんでもありません。

安倍政権は、秘密保護法や原発再稼働を強行しようと暴挙に暴挙を重ねています。安倍政権の暴走の一歩一歩が、その政権基盤を掘り崩しています。原発再稼働を許さず、国民が安心して、希望を持って生活できるよう全力を尽くします。

この集会を機に、原発はただちにゼロの流れがさらに前進 しますよう、期待しております。ご一緒にがんばりましょう。 日本共産党参議院議員 弁護士 仁比聡平

メッセージ

「NO NUKES えひめ」に参加された、伊方原発再稼動 阻止めざしてたたかう、全国から結集された仲間のみなさんに 心から連帯のあいさつを贈ります。

福島第一原発が地震によって破壊され、水素爆発・放射能拡散事故が起きてから2年と9ヶ月が経ちました。故郷を追われた人々は今なお故郷に帰れず、帰る見通しさえたたない状態です。そして今なお垂れ流しつつある放射能汚染水は太平洋を汚し、漁業に深刻な打撃を与えています。

許せないのは東京電力、そして自民党政府です。東電は今 なお事故の責任を認めていません。政府に至っては「汚染水は ブロックされている」と世界に向かってウソをいい、オリンピック・パラリンピックを誘致しました。いま予算をつぎ込まなければならないのはオリンピックではなく、福島の復興です。故

郷を奪われた人々に対する保障です。

全国にある54基の原発はすべて廃炉に追い込みましょう。巨大地震が起こってからでは遅いのです。福島を繰り返さないためにも、未来を担う子供達のためにも、伊方原発の再稼動を許さず廃炉に追い込むため、一貫して反原発を闘ってきた新社会党は、これからも皆さんといっしょに闘い続けることをお誓いし、メッセージといたします。

2013年12月1日 新社会党中央執行委員長 松枝 佳宏 (まつえだ よしひろ)

東京、吉祥寺から愛媛の皆さんに心からのエールをお送りします。

私たちが2年9ヶ月にわたり毎週声をあげている国会前ファミリーエリアで広瀬隆さんが仰ったように、今伊方原発の再稼働を許さない事、日本中の皆さんが連帯して声をあげることが太切です

今日も国会前ファミリーエリアの参加者がたくさんこの会場に駆けつけています!

私たちパパママぼくの脱原発ウォークは今日、皆さんと同じ時間に連帯して、東京吉祥寺の街で「原発いらない!伊方原発をなくそう!子どもを守ろう!」と声をあげます。

何よりも大切な命を守りたい全ての人たちと連帯して歩きます。私たちも伊方原発をなくすために 10000 人の仲間に加えてください!

えひめの皆さん、共に頑張りましょう! 国会前ファミリーエリア パパママぼくの脱原発ウォーク代表 紫野明日香

伊方からの風船が、西予市野村や高知の梼原まで



カード(写真中央)をつけたふうせん500個を、伊方町のきらら館付近から飛ばした。

右は、西予市野村に到着 したふうせん



クトで 飛んで行った風船は、6か所で発見されました。 (2日)愛媛県西予市野村町野村、(3日)愛媛県 西予市野村町の2か所、(4日)愛媛県鬼北町下大野、 (4日)愛媛県宇和島市大浦、(7日)高知県梼原町 影野地。愛媛県内で風船を見つけてくださった方は、 「TVを見て気になっていましたが、風船を見つけて

12月2日に伊方原発近くで行った風船プロジェ

びっくりしました。事故が起きたら心配ですね」と話してくれました。また、高知県で見つけてくれた方も、TVを見て山に登り、そこで発見したそうです。 風船が見つかった場所は、愛媛県だと原発から 40km~50km。高知県梼原町は約60kmです。 梼原町は自然・再生エネルギーに力を入れている町で、そこも汚染される危険があるということが分かりました。

3/29(土)に松山市コムズで「佐藤暁講演会」

講師は、元国会事故調協力調査員・元ゼネラル・ エレクトリック社技術者の佐藤暁さんです。元国会事 故調査委員の田中三彦さんも、見識深く信頼できる 話をされる人だと語っています。 原発問題を深める上で、聴き逃せない講演です。 【主催】日弁連・愛媛弁護士会の共催(見込)

【日時】 2014年3月29日(土)18時~

【会場】松山市男女共同参画推進センター5F

- 2 -

「NO NUKES えひめ」に寄せられたメッセージ

本日、「NO NUKES えひめ」の集会が、盛大に開催さ れますこと誠におめでとうございます。

早くも、東京電力福島第一原発事故から2年と6ヶ月余り が経過しています。

さて、現在、原発事故の再発防止に向け、原子力規制委員 会が原発の新規制基準を定め、安全対策を進めておりますが、 原発の安全管理の徹底、情報の開示、また、日本のエネルギー に占める原発の必要性について、国民的理解を得ることなしに 再稼働すべきではないと考えます。

また、原発に固執して再稼働を急ぐことなく、「原発は危 険である」という基本的認識の上に、耐用年数を過ぎた原発の 廃炉作業や放射性廃棄物の問題解決、再生可能エネルギーへの 転換を図りつつ、原発を段階的に減らしていくべきであると考 えます。

本日の会が実り多い会となりますことを祈念いたしまし て、メッセージとさせていただきます。

平成25年12月1日

西予市長 三好 幹二

NO NUKES えひめ へのメッセージ

今年9月には愛媛県八幡浜の伊方原発再稼働反対の集会に 伺いました。今回は残念ながら伺えませんのでメッセージをお 届けします。

伊方原発は佐田岬の付け根にあり、台風で電源喪失といっ た事故が起きると住民は逃げることができません。10月に 行ったアメリカのボストンにあるピルグレム原発も岬の根元に 立地しており、岬の先端近くに住んでいる人達は不安を感じて います。電力会社は福島原発事故の後も、「安全対策を打った から事故は起きない」と言うだけで重大事故が起きた時に住民 を安全に逃がす方策は考えていません。

伊方原発を始め、全ての原発を永遠に稼働させないことが、 将来に生きる子供たちに対して私たちの責任だと考えます。共 にがんばりましょう。

衆議院議員 菅 直人

「メッヤージ

伊方原発の再稼働をストップするため、愛媛の地でかつて ない大集会を開催されたみなさんに心からの連帯のメッセージ を送ります。

福島第一原発事故から2年8ヵ月余となります。原発事故 は、収束するどころか、放射能汚染水問題にあらわれているよ うに、深刻な非常事態にあります。ところが、安倍首相は、汚 染水問題に「国が前面に出て」といいながら、汚染水は「コン トロールされている」「完全にブロックされている」と、事実 と異なる発言に固執しています。これでは汚染水問題の危機を 打開することはできません。

それどころか、安倍首相は、事故対策は「東電まかせ」の まま、伊方原発をはじめ再稼働への暴走を開始し、輸出に奔走 しています。福島第一原発事故がこれだけ深刻で非常事態にあ るときに、原発の再稼働など論外です。

安倍政権が「世界最高」と称する「新規制基準」は、活断 層があっても地表に見えてなければ原発を真上にたててもよい ものです。さらに過酷事故が起き放射能を大量に放出する事態 を想定しながら、住民の避難計画は審査の対象にもなっていま せん。汚染水対策もありません。こんなずさんなもので再稼働 をすすめることなど許すわけにはいきません。

再稼働反対と「原発ゼロ」は、愛媛、四国、そして国民多 数の願いです。再稼働・輸出の準備は直ちにやめ、汚染水対策 に全力をあげよ。原発ゼロを直ちに決断せよーーこの声で安倍 政権を包囲し、再稼働をやめさせ、「原発ゼロの日本」を実現 するため、ともにがんばりましょう。

2013年12月1日

日本共産党幹部会委員長 • 衆議院議員 志位和夫 *******

メッセージ

「12. 1 NO NUKES えひめ」に参加のみなさん! 社会民主党党首の吉田忠智でございます。社民党を代表し て心から連帯のあいさつを申し上げます。

原発の新規制基準が施行されて再稼働申請がなされていま すが、防災対策、避難計画や避難先などの決定が充分ではない ばかりか、いまだに、東電福島第一原発事故が収束していない こと、根本的な問題である使用済み核燃料の最終処分場問題も 解決していない現状を考えるならば、再稼働はありません。

いまだに、東京電力福島第一原発事故は放射能を拡散させ 低線量被曝の恐怖にさらしています。そればかりか、東京電力 は汚染水対策すら満足な対応ができていません。

福島県民約 16 万人が県内外の避難生活を余儀なくさせら れ、生きる希望すら奪われようとしている現実をみるなら、原 発の再稼働なんてありません。

東京電力福島第一原発事故は、わたしたちに、「核と人 類は共存できない」ことを証明してしまいました。「核絶対否 定」の思いを胸に、伊方、柏崎、玄海、川内などをはじめとす る原発の再稼働をさせない、廃炉にするとの決意を訴えて連帯 のメッセージとします。

2013年12月1日

社会民主党 党首 吉田忠智 ******

「NO NUKES えひめ」へご参集いただいた全国の みなさま、なんとしても伊方原発の再稼働を阻止しましょう。

県民の大多数が反対の声を上げる中、政府は再稼働に向け て暴走しており、我々は伊方原発の再稼働を止めなければなり ません。

伊方原発の立地からも万が一、事が起こってからでは取り 返しのつかないことになります。内海を挟んで隣接する各県の 漁業、農業はもちろん、そこに住む人々の暮らしまでを脅かし

原子力規制委員会の安全審査が先行的に進む伊方原発の再 稼働を止めることで、全国の原発の再稼働を止めることが出来 ます。

沖縄においても県民の大多数が反対の声を上げる中、政府 はオスプレイの強行配備を容認し、また米軍普天間飛行場移設 問題については、名護市辺野古への移設ありきで物事を進めて おり、米軍基地を沖縄に押し付けようとしています。

沖縄社会大衆党も皆様と共に、原発の再稼働に反対し、基 地の沖縄県内押し付けを阻止すべく、頑張ってまいります。共 に戦いましょう。

> 2013年12月1日 沖縄社会大衆党 委員長

> > 参議院議員 糸数慶子

集会参加のみなさん

こんにちは。

電気は足りているし、あぶない原発を動かしてはなりません。 これ以上、使用済核燃料を増やしてはなりません。

伊方原発再稼働反対、伊方原発を廃炉にしていきましょう! 秘密保護法を廃案に!

情報統制、管理社会はゴメンです。

社会民主党 参議院議員 福島みずほ



登壇した方々のお話から (編集部でまとめました。敬称は略)

〇脱原発首都圏連合:ミサオ・レッドウルフ



ともかく再稼働させない状態を 続けていく。この積み重ねが大事 だと思う。保守の中にも動きが出て いる。申し入れや署名やいろいろ の取り組みが縦糸横糸になってい くようにしていく。原発現地と首都 圏の運動をつないでいく。デンキ が足りないなどの人々の素朴な疑 間に、一人一人が草の根的に話し

ていく。日本の主(あるじ)は私たちだと確信もって頑張って いこう。力を蓄えて出すときは一気に出していく。皆さんと頑 張りたい。

〇愛媛労連:今井正夫



県と全自治体議会に要請・請願・ 陳情を行った。住民の避難計画は 不安だらけだ。愛媛県は、避難計 画が不十分であるのに、再稼働の 三要件とは「別問題」としてすすめ る立場だ。福島事故の原因究明は なされておらず再稼働はあり得な い。しかも再稼働で放射性物質をこ れ以上増やすのは、人類の生存に

相容れない。再稼働阻止の世論をさらにひろげよう。

〇愛媛県平和運動センター: 渡邊典子

予防原則が大事だということは 国連でも確立した考え方。これま でにも絶対に放射能の影響がな いのかを問いつめた核実験に対 するたたかいがあった。福島では 大量の汚染物質を海に流し、チッ ソと同じ事を繰り返している。一刻 も早く原発は廃炉にすべき。水俣



病との闘いでは、後にチッソの労組が闘ってこなかったこと に「恥宣言」したが、そんな事のないよう、労働組合が原発 をなくす取り組みで共に頑張ろう。

○原発さよなら福島女の会:橋本あき



東電の引き起こした原発事故を 考えると再稼働はあり得ない。私 は、何としても行かなきゃと松山に やってきた。明日は伊方に行く。福 島では、深呼吸もはばかれる状態 だ。原発事故による放射能のゴミを 埋める、移転する、隠すなどで、混 乱が生じている。東電の起こしたこ

の事故の責任をとらせることが必要だ。私は、毎週月曜日に、 郡山の駅前に立って訴え続けている。

〇松山市の住民・森井正基

原発事故が過酷事故を起こすと、 大量の放射能がバラまかれる。放 射線による後遺障害を起こす。原 発が障がい者を大量に生み出すこ とになる。私の障がいは運命だが、 原発による被ばく障がい者は、発生 をとめることができる。そのためには 原発をとめましょう。



○「過渡現象記録装置」データを公開させた

元東電技術者:木村俊雄

東電が隠していた「過渡現象記 録装置」のデータをようやく一部公 開させ、その分析をおこなった。福 島は、地震が来て2分以内で、炉心 の重要な機能、法律にも位置づけ られている重要な冷却機能を喪失 したことがほぼ確実だ。価値観のヅ レはあっても目標は一つ。「ほっこり」 心穏やかにしてたたかおう。この星



から、原子力施設を撤廃するために頑張ろう。

〇福島から避難している農業従事者:渡部寛志

南相馬市から避難してきた。原発 事故はまだ何も終わっていない。今、 訴訟に立ち上がり始めている。ぜひ ご支援をお願いしたい。「福島」は現 在進行形の悲劇だ。私たちのように なってはならない。そのためには、原 発をなくすことだ。後始末をしよう。子 や孫に尻ぬぐいさせないために。



〇ジャーナリスト:鎌田慧



伊方は弾圧がたくさんあった。 闘いがあって現在がある。たとえ ば元村長の井田與之平さんは、 原発賛成から反対に転じた。夫人 は四電にだまされて印を押し夫に 批判され自殺する。漁民の若者た ちも弾圧された。原発は、裏切り・ 嘘それによる犠牲者の上にたって いる。広野房一さんも闘い続けた。 刑事弾圧に俳句で抵抗した年寄

りも居た。「秋の海寄せては返す刑事さん、秋の空むなしく 帰る刑事さん・・・」と。伊方原発に反対する運動は、涙と血 と死によって作られてきた。これからの行進に力強く進もう。 今、1000万署名運動は837万の署名を出しました。伊方 の闘いと、各地の闘いと連携してたたかう。秘密保護法案も 粉砕しよう。

- 6 -

○写真家:亀山ののこ



3・11で初めて原発の問題に 気がついた。自分の写真で伝え ようと同じ思いの母たちを撮った。 運動を続けてくれた人たちのあ とに、私たちがいる。もっとこの流 れに加わる人がいると思う。子ど もの未来を守りたい。出会い続 けつながりあい、教え合っていき たい。原発はいらない。秘密保 護法はいらない。ずっと広がって

いこう。同行した友人の話も聴いて欲しい。以下()内

(上関でスラップ裁判に対してたたかう青年=カヤックでの阻止行動に中国電力は4800万円の訴訟を起こしてきた。 それとたたかっている/福岡からの4才の子どもをもつ母親 =子どもの甲状腺への影響見過ごせない。声をあげていこう)

〇作家:広瀬隆



愛媛県の態度に非常に憤りを感じ、みなさんに呼びかけをさせていただいた。日本の原発はすべて危ないが、巨大地震の迫る伊方原発。南海トラフが動いたら、中央構造線が動くかもしれない。本当に伊方原発は危ない。田中三彦さんも地震で壊れたと言い続けてきた。

シリアでもない日本で、なん

で15万人も避難民がいるのか。本日最後に語る斉間淳子さんの話を聴いてほしい。再稼働とは、恐ろしいことなのだ。伊方原発が停止して来月で2年経つ。2年冷やした。再び火をつけてはならない。

〇宇宙飛行士: 秋山豊寛



難民になった。長崎、広島、ビキニ、ネバダの被爆者の思いを 実感した。放射性物質は林に蓄 積。首長たちは、「だいじょうぶ」 と言う。住民が逃げることを押しと どめている。棄民というか、モル モット化だ。瀬戸内で原発に何 かあれば、ほとんど壊滅するだろ

う。福島よりもっとひどい事になる。想像力を働かせてほしい。 ここには、さまざまな人々が集まっている。一歩一歩、原発 をなくすという一点で仲間を増やそう。再稼働阻止のために 頑張ろう!

〇衆議院議員:吉川元

今日は大分の佐賀関を経由してきた。海の恵みが抱負で、山の幸・椎茸栽培もさかん。原発事故が起これば全てが食べられなくなる。瀬戸内は、コンビナートの汚染や赤潮などに直面してきた。克服し守ってきた。しかし原発事故が起これば、人々の努力では回



復できないことになる。特定秘密保護法めぐる暴挙は許されない。廃案めざそう。

〇衆議院議員: 笠井亮



福島原発に行くと野戦病院のような状態。汚染水は深刻だが、 国が前面に立つ姿が見えない。 原発輸出をねらいトルコの現地 調査は日本原電に委託する。原 発関係の質問に黒塗りの回答文 書。すでに秘密にされている。伊 方原発は中央構造線が直近に有り、南海トラフの震源域にもなっている。再稼働など絶対に許されな

い。いまこそ原発ゼロの日本をつくろう。

〇参議院議員:山本太郎



「大丈夫だ」と言って、30 キロ圏内にどんどん人を住ま わせようとしている。 たくさん の人たちが被ばくにさらされ ている。

今日は全国から集まった。 各地のイベントに互いに足を 運ぼう。事故発生当時、国民 を被ばくさせる一方で海外機 関には知らせていた。秘密保

護法、言論統制、その先はファシズム。子どもたちにそんなものを渡せない。何よりも今、伊方原発再稼働なんてさせない。頑張ろう。

〇伊方原発運転差止訴訟原告:須藤昭男

私は福島県生まれで、松山で牧師をしています。福島事故で、原発が危険だと心底分かった。故郷の人たちの状況を知るにつけ、何としても原発を止めたいと思って原告に加わった。原発問題に勝つために、裁判という道がある。今、1002名の原告で闘っ



ている。弁護団も全力あげている。裁判で勝ちましょう。勝利を信じてすすみましょう。

〇八幡浜・子どもたちを原発から守る女の会: 斉間淳子

今日こうしてこんなにたくさんの 人が集まってくださったことを私は 本当に嬉しく思う。自分の反対運動の長い歴史の中で、みんなが 反対の声を唱えてくださることを 力強く思います。伊方の人に見せ たかった。亡くなった夫や、伊方 で闘ったおじちゃんやおばちゃん たちにこの姿を見せたかった。



伊方の人たちは「核と人間は共存できない」を合言葉に して長年闘ってまいりました。伊方の裁判の準備書面の中 で述べたことを全部フクシマが実現したんです。あれは本当 に人災です。私たちは同じ目に遭いたくない。故郷を失い たくありません。

皆さんと共に伊方原発をとめたい。国から作られた原発です。過疎地の伊方に。伊方は1万1千人しかいません。もしも事故が起きたら逃げ場のない伊方で原発を動かしてしまった。それは許されないことです。

原発はいらない。原発のいらない社会を作りたいと思います。私は高齢者になりましたけれども、最後の最後までいのち尽きるまで原発はいらないと、声を出し続けたいと思います。

「NO NUKES えひめ」集会決議

全国のみなさん、四国のみなさん、愛媛県内のみなさん

本日わたしたちは、「NO NUKES えひめ」集会に、愛媛県内から、四国各県から、中国、九州、近畿、関東、福島、全国から大結集しました。

伊方原発は、再稼働の一番手にねらわれています。規制委員会の更田豊志氏は、10月に伊方原発を調査し「非常にいい印象を受けた」と評価し、「先頭集団にいる」とコメントしています。中村時広愛媛県知事は、県の伊方原発環境安全管理委員会に露骨な再稼働推進論者を任命し、オフサイトセンター建設を猛烈にすすめています。根本には、原発に執着する国の政策があります。高濃度の汚染水を流し続ける福島原発の深刻な事態に、全力で対処しようとしないばかりか、原発を世界に売り続けようとする異常な姿勢があります。

今日の集会は、こうした流れをとめるための、広範な人々の認識の広がりと行動を示す場です。この集会は、様々な人たちの参加で作り上げてきました。音楽イベントを重ねてきた若者たち、障害をもつ人たち、お母さんたちとの共同。そして長く反原発、脱原発、原発ゼロで頑張ってきた人たち。力を合わせて、住民が家族連れで参加できる集会として、音楽を聴き、食し、語り合い、アピールする場として大きく成功させようと奮闘してきました。

伊方原発は、沖合6キロに中央構造線があり、地滑り地帯でもあります。最新の知見でも地震の脅威は一段と増しており、原発が強烈な地震動で壊れることを示しています。事故が起きれば避難は困難をきわめます。そして閉鎖性水域の瀬戸内海は死の海になってしまいます。原発は稼動させず、廃炉にするほかありません。人間の倫理からも、放射性廃棄物を子孫に押しつけてはなりません。原発は人類と相容れません。

一刻もはやく、原発から脱却して、安心できる社会をめざしましょう。

わたしたちは、決してあきらめません。全国津々浦々の人々とともに、伊方をはじめすべての原発の再稼働を許さず、廃炉に向けて手を取り合って行動していくことを表明します。

2013年12月1日 NO NUKES えひめ」集会参加者一同

第7回口頭弁論=3月11日(火)

松山地裁に13時・原告集合/一般13:30集合

東日本大震災と福島原発事故から3年経過する 3月11日、伊方原発運転差止訴訟の第7回口頭弁 論が開かれます。この日は、地震動についての四 電の「過小評価」を解明した「意見書」などをもとに 弁護団の意見陳述が行われます。また、原告も2 名が意見陳述の予定です。裁判所を埋め尽くす ほどの多数の方々へのご参加で、裁判官にも力 強い訴えを届けましょう。

なお、この裁判の閉廷後には、愛媛県美術館講堂にて、「フクシマを忘れない3・11集会」(仮称)を開催します。事故から3周年にあたるこの日、フクシマの苦難に思いを馳せ、あらためて原発ノーの誓いを新たにしようと企画しました。多数の方々のご参加をお願いします。(青年と愛媛民医連から、夕刻のイベントも提案されています。)



- 〇入廷希望の原告の抽選は、当会が13時に裁判所口 ビーにて行います。
- 〇傍聴者の抽選は裁判所が行います。13時30分頃には 地裁ロビーで裁判所の指示を待ってください。

- 4

- 5 -